

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課	
具体的施策 36 子育てしやすい環境づくり					
公民館における主催事業の実施(乳幼児ふれあい学級・子育てサポーター養成講座)	公民館主催事業(乳幼児ふれあい学級・子育てサポーター養成講座)実施館数の増加 160館	公民館主催事業のうち乳幼児ふれあい学級・子育てサポーター養成講座を重点事業として実施。 公民館数 127館<121館> 回数 1,247回<1,231回> 参加人数 48,702人<48,372人>	B	市) 公民館調整課	
		予 算 額(予算額は全主催事業の予算)			
		25年度予算額 55,139千円	24年度予算額 <55,667千円>		
地域子ども育成事業	140校区で育みネットを実施する。	地域の子どもを育む力の回復をめざして、地域の大人の意識変革、子どもを育む活動の活性化やネットワークの再生に取り組み、子どもたちを健やかに育む環境づくりを推進する。 ○育みネット支援事業 地域の子どもを育むネットワークづくり支援。 ・113校区実施済<109校区> ○研修講師派遣事業 子どもを見守り育もうという意識の向上を図る目的などで開催される研修会に講師を派遣する。 ・29回派遣<27回派遣>	B	こ) 青少年健全育成課	
		予 算 額			
		25年度予算額 52,040千円	24年度予算額 <54,464千円>		
区青少年育成推進事業	地域・学校・関係機関と一体となり、非行防止・啓発事業等、地域に根ざした各種青少年育成事業を推進する。	○青少年を見守る店 青少年の初発型非行を防止するため、「愛の声かけ」等の活動を通じて地域ぐるみによる非行防止体制の強化を図る。 ・579店舗<551店舗> ○中学校校区青少年育成連絡協議会への助成 中学校区の範囲で街頭パトロールなどの非行防止活動を実施する協議会の活動費を助成する。 ・助成額68校区×75千円=5,100千円 ○少年愛護パトロール員 区長が委嘱するパトロール員が、それぞれの校区をパトロールする中で、地域社会の不良環境や健全育成上の阻害要因等を早期に発見してもらう。 ・996名委嘱<1,063名> ○立入調査 青少年にとって有害な環境を浄化するために、コンビニや書店への立ち入り調査を行い、指導を行う。 ・立入件数1,317件<1,367件>	B	こ) 青少年健全育成課	
		予 算 額			
		25年度予算額 48,793千円	24年度予算額 <50,104千円>		
旅館・カラオケボックス規制指導	善良な風俗及び生活環境を保持し、青少年の健全な育成を図る。	○旅館等・カラオケボックス設置規制指導 旅館等やカラオケボックスを設置しようとする業者等に対して助言・指導を行う。 ・相談、協議回数30回<22回>	B	こ) 青少年健全育成課	
		予 算 額			
		25年度予算額 4,352千円	24年度予算額 4,353千円		
地域子育て交流支援事業	延べ参加者数138,000人 (新・福岡市子ども総合計画、平成26年度末計画目標)	地域全体で乳幼児の子育てを支援する体制づくりを行い、地域の見守りのもと、公民館等を活用して、乳幼児親子が気軽に集える「子育て交流サロン」の開設や運営を支援する。 新設数 延べ158か所<延べ155か所> 参加者数 23年度 96,065人 24年度 88,520人 25年度 95,554人	B	こ) 子育て支援課	
		予 算 額			
		25年度予算額 7,611千円	24年度予算額 <8,459千円>		

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
子どもプラザ	設置数14か所 (新・福岡市子ども総合計画, 平成26年度末計画目標)	乳幼児親子がいつでも気軽に利用でき, 子育てに関する相談や情報交換ができる子育て支援の拠点として, 子どもプラザを開設し, 地域で孤立しがちな親の子育て不安の軽減を図る。 設置数 14か所(14か所)	A	こ) 子育て支援課
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>25年度予算額 161,148千円</td> <td>24年度予算額 〈163,092千円〉</td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 161,148千円	24年度予算額 〈163,092千円〉			
ファミリー・サポート・センター事業	会員数7,200人 (新・福岡市子ども総合計画, 平成26年度末計画目標)	(具体的施策 35再掲) 「子育てを応援して欲しい人」と「子育てを応援したい人」が地域の中で育児の相互援助活動を行う。 ・保育所・幼稚園・学童保育の迎え及び帰宅後の預かり ・保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助 ・子どもの習い事等の場合の援助 など ・会員登録数 依頼会員(子育てを応援して欲しい人) 5,644人〈4,886人〉 提供会員(子育てを応援したい人) 885人 〈 862人〉 両方会員(子育てを応援して欲しいし, 応援もしたい人) 881人 〈 878人〉 合 計 7,410人〈6,626人〉 ・活動状況 17,457回〈18,143回〉	A	こ) 子育て支援課
子育て支援に関する主催事業	子どもの育ちにとって、時間・空間・仲間が重要であり、それに関わる親・サポーター等が共に体得できる内容のものを実施していく。	○子育てふれあい広場「のびのび夢ひろばじょうなん」 子育てに関する活動をしている市民グループと福岡大学や中村学園大学等のボランティアスタッフと共働で実施した。 (実施日) 平成25年9月8日(日) (参加者数) 428人〈H24は342名〉 ○子育て講座「乳幼児と大人のための外遊び講座」 子育て中の保護者はじめ大人たちが、日頃の子育てを見つめなおす機会として乳幼児と大人が共に外遊びの実体験をする講座を実施した。 (実施日) H25.6月～H25.11月 全5回開催 (参加者延べ数) 145組〈H24は6回開催136組〉	B	城) 生涯学習推進課
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>25年度予算額 424千円</td> <td>24年度予算額 〈238千円〉</td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 424千円	24年度予算額 〈238千円〉			

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
児童虐待防止事業	一時保護児、乳児院、児童養護施設入所児の1年以内での再統合ケース：80.0%	<p>児童虐待の未然防止，早期発見・対応，子どもや親のケア，再発防止などを行うもの。</p> <p>1 早期対応・相談体制の強化 児童福祉司等の専門性強化，法的対応機能強化事業の実施</p> <p>2 子どもや親への支援体制の強化 親の養育支援事業の実施</p> <p>3 関係機関とのネットワークの強化 区子育て支援課との連携強化</p> <p>※一時保護児，乳児院，児童養護施設入所児の1年以内での再統合ケースの実績 H25年度 62.7% ※当初値 62.2%(H14年度)</p> <p>予 算 額(※予算額のうち特定財源 3,062千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>13,995千円</td> <td><14,551千円></td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	13,995千円	<14,551千円>	B	こ) こども緊急支援課
25年度予算額	24年度予算額							
13,995千円	<14,551千円>							
区保健福祉センター家庭児童相談室における相談	身近な相談窓口としての機能を充実し迅速かつ的確な対応を目指す。	<p>(具体的施策 15再掲)</p> <p>婦人保護相談 延べ件数 5,449件< 5,301件> 母子自立相談 延べ件数 8,409件< 8,179件> 家庭児童相談 延べ件数 14,702件<10,916件> うち，DV相談 延べ件数 2,894件< 3,016件> (※婦人保護相談に含む)</p>	B	こ) こども家庭課				
街頭指導		<p>中学・高等学校教諭や民生委員・児童委員等に「子ども生活指導員」を委嘱し，市内の繁華街等(天神，JR博多駅など市内14か所)のゲームセンター，カラオケボックス，スーパー，デパート，商店街等の盛り場，公園など青少年のたまり場を重点として，街頭指導活動を実施した。</p> <p>街頭指導:実施回数 212回< 223回> 従事人員 789人< 879人> 指導人員 1,468人(534人)< 1,564人(483人)> ※()内は女子で内数。</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>2,433千円</td> <td><2,433千円></td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	2,433千円	<2,433千円>	B	こ) こども相談課
25年度予算額	24年度予算額							
2,433千円	<2,433千円>							
アミカスにおける託児の実施	安全で快適な託児を実施する。	<p>アミカスで行う講座・講演会において託児グループによる託児を実施した(18年度からアミカス主催講座については無料とした。)</p> <p>託児付き講座・講演会: 35講座<31講座> 託児参加者数: 787人<690人> 託児スタッフ延べ人数: 615人<521人> 託児スタッフ登録人数: 39人<28人></p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>1,854千円</td> <td><1,854千円></td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	1,854千円	<1,854千円>	A	市) 事業推進課
25年度予算額	24年度予算額							
1,854千円	<1,854千円>							
アミカスBOOKタイム	乳幼児を育てる保護者のリフレッシュを図る。	<p>託児付きで読書やビデオ鑑賞の機会を提供。</p> <p>5月～12月 全8回 参加者 93人 <5月～12月 全8回 参加者110人></p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-	B	市) 事業推進課
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							
市民や企業と共働した子育て支援	平成26年度末までに，賛同企業・団体数を1500にする。	<p>(具体的施策 28再掲)</p> <p>子どもの健やかな成長を考える“きっかけ”となるよう，企業・団体に対して，“「い～な」ふくおか・子ども週間♡”賛同を呼びかけた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年3月末現在賛同数 928企業・団体 <平成25年3月末賛同数 900企業・団体> ・働く人の認知度を向上するため，週間に合わせ，市営地下鉄駅構内で通勤時間帯に放送 ・“「い～な」ふくおか・子ども週間”ホームページに賛同企業・団体名及び取り組みを掲載するとともに，呼びかけ強化月間(8～10月)を設定し，市役所全庁に呼びかけ ・ノ一残業デーの実施 ・子ども参観日の実施(8月2日) ・経済誌掲載 	B	こ) 総務企画課				

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
留守家庭子ども会事業	小学校内に設置した「留守家庭子ども会」等において、学年拡大に係る対象校・学年を順次拡大し、平成27年度当初までに、全施設での全学年受入を実施する。	(具体的施策 35再掲) 放課後帰宅しても保護者が労働等で不在である家庭の児童を対象に「留守家庭子ども会」を設置し、児童の健全育成と子育て支援を行う。 設置校区 140か所(138校区)〈141か所(138校区)〉 平成20年9月から午後7時までの開設時間の延長を実施。 平成21年7月から4年生の長期休業中のみの受入れを実施。 平成22年4月から67校区において4年生の通年受入れを実施。 平成23年4月から24校区において4年生の通年受入れを実施。 また、22年度に4年生を受け入れた67校で5年生の通年受入を開始。 平成24年4月から24校区において4年生の通年受け入れを実施。また、23年度に4年生を受け入れた24校で5年生の通年受入を開始、5年生を受け入れた67校で全学年の通年受入を開始。 平成25年4月から4年生の通年受入を全校で実施。また、24年度に4年生を受け入れた24校で5年生の通年受入を開始、5年生を受け入れた67校で6年生の通年受入を開始。	A	こ) こども育成課
こども総合相談センター総合相談事業		電話相談受理件数(全体) … 10,389 件(10,896件) 面接相談受理件数(全体) … 3,837 件(3,812件) 予 算 額 25年度予算額 461,785千円 24年度予算額 (480,022千円)	B	こ) こども支援課
バリアフリーのまちづくり推進		1. 福岡市バリアフリー基本計画の策定 ・市民、事業者等で構成する協議会実施:1回<3回> 2. バリアフリー化推進の普及・啓発、育成 ①出前講座 ・実施回数:2回、参加人数:70名 〈実施回数:3回、参加人数:65名> ②市職員向け研修(参加人数) ・技術者研修:32名、体験研修:10名 〈技術者研修:51名、体験研修:10名> 予 算 額 25年度予算額 6,477千円 24年度予算額 (5,365千円)	A	保) 政策推進課
都心部風俗関係違反広告物除却作業	当該地区における風俗関係違反広告物の根絶	都心部の博多駅地区、中洲地区、天神地区で、青少年の健全育成を阻害するピンクちらしを含む違反広告物を業者委託により除却した。 違反(除却)枚数:42,996枚(52,049枚) 予 算 額 25年度予算額 4,200千円 24年度予算額 (4,200千円)	B	住都) 都市景観室
鉄道駅施設バリアフリー化促進事業	高齢者や障がいがある人をはじめ全ての公共交通利用者が安全且つ円滑に移動できるよう公共交通施設のバリアフリー化を推進する。	西鉄三苦駅のバリアフリー化整備について、はH24からの繰越事業であったが、H25にエレベータ1基を設置を完了した。 JR下山門駅のバリアフリー化整備に着手したが、関係者との協議に期間を要したため、H26へ繰越した。 平成24年度実績:無し 平成25年度実績:三苦駅エレベーター1基設置 予 算 額 25年度予算額 33,333千円 24年度予算額 -	B	住都) 公共交通推進課 ※25年度は、交通施策推進課

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 37 介護支援の充実				
介護保険事業	第5期介護保険事業計画の円滑な実施	要介護認定者数 56,231人(年度平均)< 52,771人) 介護サービス利用者数 43,848人(年度平均)< 41,438人)	A	(保) 介護福祉課 ※25年度は、介護保険課
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>25年度予算額 80,899,683千円</td> <td>24年度予算額 <76,512,854千円></td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 80,899,683千円	24年度予算額 <76,512,854千円>			
地域支援事業及び在宅高齢者福祉事業	高齢者が住み慣れた地域や家庭で、安心して暮らし続けられるよう、地域における身近な総合相談機能の充実に努めるとともに、介護予防を推進し、自宅での自立支援や介護者の負担軽減を図る。	○地域支援事業 地域で生活する高齢者、その家族を支援するため、介護予防事業(高齢者が要介護状態になることを防ぐ)、包括的支援事業(地域包括支援センターが実施)、任意事業(高齢者が地域で自立した日常生活を送れるように支援)を実施する。 地域支援事業31事業(介護予防事業(9事業)、包括的支援事業(3事業)、任意事業(19事業))及び在宅福祉サービスの13事業を実施 <地域支援事業32事業(介護予防事業(11事業)、包括的支援事業(2事業)、任意事業(19事業))及び在宅福祉サービスの13事業を実施>	A	(保) 介護福祉課 ※25年度は、介護保険課
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>25年度予算額 917,606千円</td> <td>24年度予算額 <856,373千円></td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 917,606千円	24年度予算額 <856,373千円>			
地域包括支援センター事業	地域における高齢者の身近な相談体制充実を図る	○相談実績 実相談人数 27,941人< 28,207人> 延相談人数 121,966人<121,020人> □	A	(保) 地域包括ケア推進課 ※25年度は、地域保健課
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>25年度予算額 1,011,414千円</td> <td>24年度予算額 <996,920千円></td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 1,011,414千円	24年度予算額 <996,920千円>			
介護老人保健施設等建設費助成	第5期福岡市高齢者保健福祉計画(平成24年度から平成26年度) 介護老人保健施設平成26年度整備計画数 2,610人分	要介護高齢者の増加に対応するため、医療法人等が行う介護老人保健施設の整備に対して助成を行う。 25年度末現在 累計 27施設・定員2,627人<27施設・定員2,609人>	A	(保) 高齢者サービス支援課 ※25年度は、介護サービス課
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>25年度予算額 -</td> <td>24年度予算額 -</td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 -	24年度予算額 -			
ふれあいネットワークふれあいサロン	ふれあいネットワークは実施自治会数を、ふれあいサロンは実施箇所数を増やし、住民による地域保健福祉活動の充実を図る。	高齢者等を地域で支えるしくみづくりの推進をとおして、男女が共に仕事と家庭を両立できる環境づくりを図った。 ・ふれあいネットワーク 129校区<127校区> 1,673自治会数<1,648自治会数> ・ふれあいサロン 139校区<139校区> 327箇所<316箇所> ※平成25年度実績は12月末現在の数値	A	(保) 高齢社会政策課
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>25年度予算額 38,807千円</td> <td>24年度予算額 <36,919千円></td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 38,807千円	24年度予算額 <36,919千円>			
特別養護老人ホーム等建設費助成	第5期福岡市高齢者保健福祉計画(平成24年度から平成26年度) 特別養護老人ホーム平成26年度整備計画数 5,100人分	要介護高齢者の増加に対応するため、社会福祉法人が行う特別養護老人ホーム等の整備に対して助成を行う。 25年度開設 5施設・定員401人<8施設・定員402人> 累計 66施設・定員4,797人<61施設・定員4,396人>(計画済 5,126人分)	A	(保) 高齢者サービス支援課 ※25年度は、介護サービス課
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>25年度予算額 1,288,726千円</td> <td>24年度予算額 <1,359,258千円></td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 1,288,726千円	24年度予算額 <1,359,258千円>			

施策の方向 4 ひとり親家庭への支援の充実

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課	
具体的施策 38 相談の充実					
区保健福祉センター 家庭児童相談室に おける相談	身近な相談窓口としての機能を充実し迅速かつ的確な対応を目指す。	(具体的施策 15再掲) 婦人保護相談 延べ件数 5,449件< 5,301件> 母子自立相談 延べ件数 8,409件< 8,179件> 家庭児童相談 延べ件数 14,702件<10,916件> うち、DV相談 延べ件数 2,894件< 3,016件> (※婦人保護相談に含む)	B	こ) こども家庭課	
区家庭児童相談室 相談員研修	身近な相談窓口としての機能を充実し迅速かつ的確な対応を目指す。	本庁での業務研修や福岡県社会福祉協議会による社会福祉施設職員研修などの派遣研修を行っている。このうちDVについては、福岡県女性相談所でのスーパービジョン研修等に派遣している。	A	こ) こども家庭課	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		-	-		
民生委員・児童委員、主任児童委員研修	社会奉仕の精神をもって相談、援助に当たり社会福祉の増進に努める民生委員・児童委員、主任児童委員の資質の向上を図る研修を毎年実施する。	○中堅研修(1回実施、参加者140人) ○幹部研修(1回実施、参加者186人)<1回実施、参加者188人> ○主任児童委員研修(台風により中止)<1回実施、参加者193人> ○専門部会研修(以下は市レベルの研修である。各区レベルでも全民生委員・児童委員を対象に別途、研修を実施している。) (10回実施、参加者のべ209人)<10回実施、参加者のべ202人>	B	保) 高齢社会政策課	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		283,303千円	<268,508千円>		
アミカス相談室	日常生活の中で直面する様々な問題について相談員などが相談を受け、問題解決に向けて援助する。	(具体的施策 15再掲) (1)相談業務 ①総合相談(相談・面接) ②アミカスDV相談ダイヤル ③法律相談 ④男性のための相談ホットライン (2)講座などによる啓発活動 ①法律講座 年4回<6回> 参加者 延べ76名<199名> ②グループワーク 年2講座12回 参加者 延べ60人<59人> ③DV講座 2回<2回> 参加者15名<14名> ④自主グループ支援 6回<13回>24人<55人> (3)相談員の会議・研修 ①DV相談窓口の相談員連絡会議 1回<1回> ②事例検討・研修会 年5回<5回> <事業実績> ○相談件数 4,210件<4,764件> 再掲:DV相談 796件<1,097件>	B	市) 事業推進課	
母子福祉センター事業	今後も当該サービスを継続して実施する。	母子家庭等の福祉を増進するため、各種相談に応じるとともに、本市における母子家庭の自立・就業支援の中心施設として、他の相談機関等と連携しながら就業情報の提供や就業支援講習会等の事業を実施している。 利用者数11,337人<12,338人> ※平成26年4月1日から、「ひとり親家庭支援センター」に名称変更	A	こ) こども家庭課	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		54,813千円	<55,154千円>		

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
<p>具体的施策 39 ひとり親家庭の自立促進と生活の安定</p>								
母子家庭等日常生活支援事業	今後も当該サービスを継続して実施する。	<p>母子家庭、父子家庭及び寡婦の修学等の自立促進に必要な事由や疾病等の社会的な事由により、一時的に介護、保育等のサービスが必要などとき、家庭生活支援員を派遣して、必要な介護及び児童の保育を行うもの。 385時間<425時間></p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>457千円</td> <td><415千円></td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	457千円	<415千円>	A	こ) こども家庭課
25年度予算額	24年度予算額							
457千円	<415千円>							
母子福祉センター事業	今後も当該サービスを継続して実施する。	<p>(具体的施策 38再掲) 母子家庭等の福祉を増進するため、各種相談に応じるとともに、本市における母子家庭の自立・就業支援の中心施設として、他の相談機関等と連携しながら就業情報の提供や就業支援講習会等の事業を実施している。 利用者数11,337人<12,338人> ※平成26年4月1日から、「ひとり親家庭支援センター」に名称変更</p>	A	こ) こども家庭課				
ひとり親家庭就業支援事業	今後も当該サービスを継続して実施する。	<p>○ひとり親無料職業紹介事業 平成20年12月から母子福祉センターにて無料職業紹介事業を実施 就職者数4名<8名></p> <p>○自立支援プログラム策定事業 児童扶養手当受給者の自立を促進するため、個々の状況に応じた自立支援計画書(プログラム)を策定し、個別・継続的な自立・就労支援を行う。 就職者数37件<15件></p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>3,673千円</td> <td><3,246千円></td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	3,673千円	<3,246千円>	A	こ) こども家庭課
25年度予算額	24年度予算額							
3,673千円	<3,246千円>							
母子家庭自立支援給付金事業	今後も当該サービスを継続して実施する。	<p>○自立支援教育訓練給付金事業 母子家庭の母が能力開発のために資格等を取得する際、その受講料の2割(最高10万円)を支給。 ・支給件数 5件<1件></p> <p>○高等技能訓練促進費事業 母子家庭の母が看護師等の就職に結びつきやすい高度な資格を取得する際、月額100,000円(課税世帯は月額70,500円)の促進費を支給。 ・支給件数 108件<120件> また、修業後50,000円(課税世帯は25,000円)の修了一時金を支給。 ・支給件数 41件<42件></p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>147,536千円</td> <td><207,316千円></td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	147,536千円	<207,316千円>	A	こ) こども家庭課
25年度予算額	24年度予算額							
147,536千円	<207,316千円>							
市営住宅へのひとり親家庭優遇措置	市営住宅入居時の抽選倍率が、全体平均倍率よりもひとり親世帯の倍率を低い状態で維持する。	<p>一般世帯と同じ住宅に申し込みを行うひとり親世帯に対し、抽選番号を一般世帯よりも多く割り振ることにより当選の確率を高くして配慮している。 申し込み回数が4回目(落選回数3回)までの人には1個、5回目以上(落選回数4回以上)の人には2個の抽選番号がプラスされる。</p> <p>○ ひとり親世帯の抽選倍率 14.68倍(全体平均 14.86倍)<13.66倍(全体平均 14.41倍)></p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-	A	住都) 住宅管理課
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							